

## 【マルテンプSRL】 協同油脂

### 低騒音性に優れた広温度範囲用ベアリンググリス

1. 増ちょう剤：機械的安定性に優れたリチウムグリス
2. 特徴：低騒音性・高温域の長期潤滑・防錆性に優れる
3. 環境：地球にやさしい生分解性グリス
4. 用途：電動機や自動車部品の小型ベアリングに最適
5. 荷姿：400gバラ、400g\*12本、2.5kg缶、18kg缶



### 「高崎物語」 17

東京に出たときは、飯田橋にある友人の慧君のアパートを訪ねるのが日課のようになっていた。

彼の部屋は、三畳の広さで二段になっており下はフローリングに机が一つ、上は畳が一枚と押入れがあり、都会の学生の一般的な間取りになっていた。

このアパートには、彼の兄さんも親戚の学生や勤め人もいて、一つの親族集団を形成していた。

そんな環境と彼の温厚で気さくな人柄が、この小さな部屋に仲間を集わせ、頭を互い違いに上に二人下に二人の計四人が寝泊りすることがあった。

高校時代、よく彼の家に集まっておしゃべりをした仲間である。私たちは、同じ町に住みお互い五分とかからない処に住んでいて、入学した高校も一緒だった。

通学列車に一番先に乗り込んで、ノートを取り出しては難解な数学の問題を解いていた秀才で東北大学に通う八郎君。

### 『詰襟のバッジ』

夏のくそ暑いのにゴムの長靴をドタバタさせながら一番後からやって来た武威大学の隆君。

高校二年のとき、無謀にも尾瀬と日光を地図とテントと体力を頼りに、一週間ヘトヘトになりながら歩きとおした青山学院大学に通う慧君と私。

ある日、彼の在籍する青山学院大学に一緒に行き、講義を受けながら後ろの方の席で彼に頼まれた数学の問題を解いていた。

授業の終了間際、突然講義をしていた教授が私の方を指差して、「おい君、さっきから何をしているんだ」と、言っただけに向かってきた。「この学生でない者が、無断で聴講しているとねばどういふ処分を受けるのか一瞬判断できなかった。咄嗟に、私は詰襟のバッジに手をやっていった。

教授がやってきて、もうだめだと思った瞬間、私の横を通り過ぎ後ろで寝ていた学生の頭をたたいていた。

冷や汗が、背中を濡らした。

### あとかぎ



勿来に嫁いだ娘が、1週間に2日ほど孫を連れて手伝いにやってくる。わたしの孫は、まだこの娘の子供二人だけだからやってくるのが待ち遠しい。上の女の子がやってくれば、事務所はたちまち前の保育園に負けないほど賑やかになる。下の男の子が来れば、事務所の和室は託児所代わりになる。わたしも人の子、ふたりの孫は何よりも愛おしく、可愛い。